

学 会 名 学会名 第60回日本リハビリテーション医学会学術集会
(令和5年6月29日～7月2日)

研究テーマ コロナクラスター下の回復期病棟における社会福祉士の役割

病 院 名 健育会 ねりま健育会病院

演 者 ○発表者：尾花 彩乃 (社会福祉士)
三井京子 澤良二郎 大串悠太郎 戸田紋加 中田陽子
小松智行 酒向正春

概 要

【研究背景】院内で3度のクラスターを経験し部門としての振り返りを行った。

【研究目的】回復期病棟コロナクラスター発生時の社会福祉士 (MSW) の役割について検討した。

【研究方法】3回のコロナクラスター時のMSWの役割を、①重症患者家族の転院調整、②入院・退院予定患者の再調整、③面談・介助指導・家屋調査・認定調査等の調整支援、④陰性者と全家族への連絡、状況・対応策の説明、⑤不安が増強する陰性患者や全家族の精神面サポート、⑥クラスター予防の6項目として達成率を検討した。

【結果】MSWの役割は1回目は重症患者の転院調整、入院・退院予定患者の再調整を実施。2回目は、1回目の項目に加え、面談・介助指導・家屋調査・認定調査等の調整支援、陰性者と全家族への連絡、状況・対応策の説明を実施。3回目は、加えて不安が増強する陰性患者や全家族の精神面サポートを実施することができた。

【考察】感染者の状態、院内感染状況、今後のリハ訓練について正確に把握し、家族へ情報を報告し、患者と家族の安心と医療安全の支援が必須。その為に感染対策会議への責任者の参画が有効。不安が増強する患者や全家族の精神面サポートが極めて重要であり、MSWは常にアセスメント力、サポート力向上の努力が必要。MSWの特性を活かし丁寧な評価を実施して、病院組織に理解を働きかけ、議論や検討することでメゾレベルでの患者・家族を支援する体制構築が重要である。

【結論】不測時のMSWの役割はチーム医療連携の橋渡し機能であり、医療の質に極めて重要であり MSWの専門性 特性を活かし さらに極

のり、MSDの守りには、特許を回復し、さらに個
渡し機能を強化していく必要がある。